



AIネットワーク社会推進会議

**「報告書 2018を読んで」
素朴な感想と期待すること**

2018年12月10日

株式会社システムインテグレータ
代表取締役 社長 梅田弘之

株式会社システムインテグレータ
代表取締役 社長 梅田弘之

AIネットワーク社会推進会議

**「報告書 2018を読んで」
素朴な感想と期待すること**

2018年12月10日

株式会社システムインテグレータ
代表取締役 社長 梅田弘之

自己紹介

梅田弘之

1980年東芝、1989年SCSKを経て1995年に起業
株式会社システムインテグレータ 代表取締役社長
社員数 178名 東京証券取引所第一部 (3826)

ERP、EC、プロジェクト管理、データベース開発・設計支援ツール、
プログラミングスキル判定サービス、AI「AISIV」関連製品などを企画開発



インセプションデッキ第1章

我われはなぜここにいるのか(Why1)



- ・ この報告書は、誰が作っているのか（文責は誰）
- ・ この報告書は、誰に対する報告なのか
- ・ この報告書は、何を目的にしているのか
- ・ この報告書を読んで、その目的が達成できるのか

第1章 AI ネットワーク化をめぐる最近の動向

- ・ 取組み全体を概観できる図が欲しい
パワーポイントや書籍で相手に伝えるマインドが欲しい
- ・ だからどうなのか、どうすべきなのかの方向性が見えない
(例えば)
- ・ 日本独自のルール作りはやめて、国際ルールに合わせる
- ・ 各国のルールをマトリクスで比較した上で、日本のルールを策定する

第2章 AI ネットワーク化が社会・経済にもたらす影響

- ・ 切り貼りした表や図の文字が小さくて読みづらい
- ・ まとめや結論などがなく、だらだら文章が続いている
活動実績の報告ではなく、報告書本来の目的を果たす
現状と今後をわかりやすくまとめた図表が欲しい

第3章 AIの利活用において留意することが期待される事項

- ・ せっかくPPT化したのに、PPTが文字主体
報告書の図を貼り付けるだけでなく、整理した図表が欲しい
無理に収めるため文字を小さくしたり、フォントもバラバラ
- ・ 関連する主体の整理と利活用原則をまとめた⇒これはOK
理解と整理を検証できる掘り下げたケーススタディが欲しい

(例えば①の医療用AIクラウドなら)

A病院の医師BがC社製の内視鏡をD社から購入して患者Eをの胃をAI検査し、
注視すれば発見できる早期がんを見逃し、医師もAIに頼って見逃した場合。

①適正利用の原則・・・医師とAIの役割分担は

②適正学習の原則・・・AIの学習データをどうやって集めるか
学習したのは誰で、能力不足の責任は

⑤セキュリティの原則・学習データやAI診断結果がクラウドや院内から漏洩

⑥プライバシーの原則

など、より具体的なケーススタディで主体の整理と原則を結び付ける

今後の検討の方向性

「最終的なアウトプット」への期待（希望）

- ・ 誰が読むためのアウトプットか
- ・ 読み手は、それを重宝して活用できるか（3千円で買う価値があるか）
- ・ 価値の薄いアウトプットになった場合は誰の責任か
- ・ 寄せ集めではなく、価値あるものにするための編集方針や相互チェック
- ・ 最終的なアウトプット（成果物）は何と何か
- ・ 最終的なアウトプットは、いつ出すのか
- ・ 最終的なアウトプットを幅広い人に読んでもらうためにどうするのか



株式会社システムインテグレータ
代表取締役 社長 梅田弘之